

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2004年7月6日

2004年7月4日現在の概況：

6月27日に終わる1週間のオレゴン気象は、概して Hot & Dry であった。高温気象は小麦の成熟を早めた。そして7月4日に終わる1週間も同様に乾燥・高温気象が続いた。NC地区の平均気温は平年を5~10度F上回り、Willamette Valleyに於いても平年を2~6度F上回った。NC地区の最高気温は85~92度F、Willamette Valleyでは84~88度F程であった。降水はWillamette Valleyでは全く無く、NC地区にて雷雨があり Pendleton にて0.05インチを記録したが、小麦の特に春小麦の成育を改善するほどの降水量は無かった。

1週間の州平均農作業稼働日数は6.7日(前週：6.8日)であった。

冬小麦の収穫開始は略2週間先と見込まれた。春小麦は97%が出穂した。更に降雨を必要としている。Willametteの一部でRustが報告された。冬小麦の作柄は前週より多少改善し、“Good”の評価が全体の57%(前週：50%)となった。春小麦は多くの圃場が“Fair”と報告された。

土壌水分：7月4日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	5	43	52	0
Subsoil (%)	6	40	54	0

小麦生育状況：7月4日現在

Spring wheat	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Headed (%)	97	92	95	99
Winter wheat Harvested (%)	0	0	0	1

小麦作柄状況：7月4日現在

Winter Wheat	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	0	6	31	57	6
Last Week (%)	0	11	31	50	8
Spring wheat (%)	NA	NA	NA	NA	NA

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>